茨城新聞（2023/10/11 朝刊）

県内総合

情報教育充実へ協定

県教委と日本計算工学会

県教育委員会と日本計算工学会（東京都文京区）は10日、中高生対象のプログラミングに関する情報教育の向上や充実を図る連携協定を締結した。森作宜民教育長と磯部大吾郎会長が同日、県庁で協定書にサインした。同学会が教委と連携するのは初めて。

協定には、プログラミングの技術が生かされた、建造物を安全に解体するためにシミュレーション（模擬実験）して見せる動画（約20分）の配信や、同会員を講師とした情報や生物科学に関する出前授業の実施などが盛り込まれた。

同学会は任意団体として1995年設立し、2010年に法人化。計算工学と計算力学分野に関わるエンジニアの育成・支援と国際活動を推進している。会員は、大学教授やエンジニアなど千人を超える。

磯部会長は「プログラミングが実社会で使われていることを知ってもらい、興味を持ってもらいたい。仕組みを理解することが楽しいにつながる」と話した。森作教育長は「IT人材の需要は今後高まる。日本計算工学会と情報教育の質の向上に取り組み、デジタル社会で活躍できる人材の育成に期待している」と述べた。（小竹侑希）

協定を結んだ森作宜民県教育長（左から4人目）と磯部大吾郎会長（右から3人目）＝県庁

市町議選2人公認

自民県連

自民党県連は10日、小美玉市議選と八千代町議選（ともに11月19日投開票）で、党公認候補2人を決めたと発表した。県連が発表した候補は次の通り。（敬称略）

【公認】小美玉市議選　村田春樹▽八千代町議選　水垣正弘

ごみ施設解体費問題

自治紛争委員を任命

県、12月までに調停案

ごみ処理を担う「霞台厚生施設組合」（小美玉市）の旧施設解体に対する支出をかすみがうら市が拒否している問題で、県は10日、第三者機関の自治紛争処理委員を任命し、調停を付託した。12月上旬までに調停手続きに関する規則では、委員は付託から60日以内に調停案を作成すると定めている。調停案に法的拘束力はない。調停案は同市と同組合に示された後、県ホームページ上でも概要が公表される予定。

旧施設を巡っては、石岡、小美玉、かすみがうら、茨城の4市町で構成する同組合のうち、かすみがうら